



バオバブの木



ビクトリアの滝



NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ニュース第6号 (H24.12.14)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄

はじめに

12 月中旬となり、年の瀬が押し迫ってきましたね。選挙が重なり慌ただしいですね。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
今年最後のニュース第6号をお届けします。皆様、良い年をお迎えください。

会の経過報告

会の活動期間は12月までが一区切りとなっています。活動一年目が終わります。賛助会員も100名を超え、来年の7月には丸一年となりますので、その時点で認定NPO法人化の手続きを行う予定です。
来月には一年目の活動のまとめと会計報告を予定しています。
7月の法人設立からあつという間でしたが、皆様のご協力に感謝申し上げます。

ザンビアでの活動状況 11月28日 ルアノ地区での巡回診療(山元先生から届きました)

雨季が始まりました。雨の降った翌朝、事務所兼住宅の我が家の台所は水浸しでした。床に置いていた50kgの小麦粉の入った袋もびしょりと濡れていました。台所のドアの建てつけが悪いので、隙間から雨水が浸入するのです。2日続けて同じ状態でしたので、大家さんにドアの下の隙間にゴム板を取り付けてもらい、量は減りましたが、まだ雨水の浸入は続いています。ドアの隙間にタオルやバスタオルを重ねて何とかしのいでいます。

ルサカの町にもあちこち水たまりができていて、ルアノまで行けるかととても心配でした。チペンビヘルスセンターまでの道は、水たまりが多くできていましたが、路面が比較的硬いので特に問題なく通過できました。ヘルスセンターに着いて、橋が壊れていると知らされました。ルアノ地区に行くには、20分ほど砂利道ですが、カブエという町まで通じている最近整備された大きな道路を通ります。そこには、いくつもの幅1m程のコンクリート製の橋が造られています。その橋のいくつかが陥没して通れないとのこと。その壊れた橋を避けるために、う回路を経て何とか大きな道路に出ましたが、ほとんどの橋が陥没しています。橋の脇には排水路の穴が掘られているのですが、土砂がたまって全く排水路の役目を果たしていません。そのために橋の下に水がたまって橋の土管の底を掘り下げて、地面がどんどん陥没しているのかなと考えました。陥没し、両脇が大きくえぐれた橋を恐る恐る渡って、何とかルアノに通じる脇道に入りました。この脇道も2週間前とは大きく様変わりしていました。水たまりが多くぬかるみ、大きな石がごろごろしています。雨

